

レジメン名	Atezolizumab+BEV
対象疾患	切除不能な肝細胞癌
1クールの日数	21日
目標コース数	可能な限り継続

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	テセントリク		1200	mg	div	下記参照	d1
2	アバスチン	BEV	15	mg/kg	div	下記参照	d1
3							
4							
5							
6							
補足	<p>テセントリクの投与時間は初回投与時60分で行う。忍容性が良好であれば、2回目以降の投与は30分で投与可能。</p> <p>アバスチンの投与時間は初回投与時90分で行う。忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間、3回目以降30分で投与可能。</p>						

催吐リスク	軽度
前投薬	
減量規定	<p>テセントリク：間質性肺疾患等の呼吸器障害、肝機能障害、大腸炎/下痢、膵炎、内分泌障害、脳炎、髄膜炎、神経障害、重症筋無力症、皮膚障害、腎炎、筋炎、心筋炎、眼障害、infusion reactionについて休薬基準あり</p> <p>アバスチン：国内臨床試験における高血圧、蛋白尿等の休薬・中止基準あり</p>
主な副作用	<p>悪心、食欲不振、下痢、倦怠感、掻痒症、発疹、発熱、関節痛、高血圧、出血、尿蛋白陽性、消化管穿孔、血栓塞栓症、創傷治癒遅延</p> <p>※テセントリクの注意を要する副作用</p> <p>間質性肺疾患、肝機能障害、肝炎、大腸炎、重度の下痢、膵炎、I型糖尿病、甲状腺機能障害、副腎気脳障害、下垂体機能障害、脳炎、髄膜炎、神経障害、重症筋無力症、重度の皮膚障害、腎機能障害、筋炎、横紋筋融解症、心筋炎、血球貪食症候群、infusion reaction</p>
参考文献	<p>適正使用ガイド（テセントリク、アバスチン）</p> <p>制吐薬適正使用ガイドライン（日本癌治療学会）</p>
その他	テセントリク：インラインフィルター使用

投与スケジュール

Day (1)			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL 1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL テセントリク注 1日1回 インラインフィルター使用	1本 1200mg	初回60分 2回目以降30分
3	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液100mL アバスチン注 1日1回	1本 15mg/kg	初回90分 2回目60分 3回目以降30分